

川絵理子選

きながら親の顔

南房総市 山根 徳一

の習性をユニークな視
親が「こっちだよ」と
待っていてくれた思い
「親の顔」が懐かしく、
導いてくれるよう。

にあり夏木立

東京都 公衆 京子



枝しおり折

龍太一句集『SKY・BLU
E』 宇宙や悠久の歴史に思い
をはせる、構えの大きい第3句
集。△夏至過ぎて地軸の疲れみ
えにけり▽

(飯塚書店、3300円)

梁山陸美歌集『ロボット座流

あれこれ第2回は22日に掲載します。

バイセル3つの安心宣言!

読売俳壇

高野ムツオ選

使われない世界を信じて武器となる

【評】五月の節句に武器を飾るのは子孫の健康を願う。だが、武器は身をを守るが攻撃の道具ともなる。実際に使用され続けている。不要となる未来への祈りだともえる。

この期に地獄が半生

【評】地獄は国の政変を風土の地獄から地理から研究する学問。ナチスの領土拡張政策に引用されたという。現代も同様の危険がある。

西森市 天童 光宏

【評】読者の土音は音韻の道徳から出ている。草花はひびく不明だ。今と同じ音の草花を吹いていたあの想像は美しい。

田口市 清正 風雲

田口市 清正 風雲

田口市 清正 風雲

田口市 清正 風雲

田口市 清正 風雲

田口市 清正 風雲

田口市 清正 風雲

田口市 清正 風雲

田口市 清正 風雲

田口市 清正 風雲

田口市 清正 風雲

正木ゆう子選

髪洗ふ敷地多うともいまは無く

【評】「いまは」とは、年齢を重ねて、というところ。そのいふは私にも通ずる。髪を洗うに遠い。若い時は敷地を洗うにいられた。でも、髪を洗うにいられた。でも、髪を洗うにいられた。

草刈つて四角に居る強かな

【評】すいぶんあっさりした句だが、実感があふれる。草刈つて、四角に食み出していたのが、四角に突つた。読んで、シブに、気持ちいい。

晴の緒を伝はる松太鼓かな

【評】お節に響く太鼓の音や振動は、船児にも伝はる。お節は、お節の緒を伝はる。お節は、お節の緒を伝はる。お節は、お節の緒を伝はる。

牛鈴鳴きて野郎の橋のきり

残し置く二つや父の夏服

地下足袋をまろへ八十八夜の朝

呼び捨ての従姉の電話本トギス

春風と野生はみんないなり

春風と野生はみんないなり

春風と野生はみんないなり

春風と野生はみんないなり

春風と野生はみんないなり

春風と野生はみんないなり

春風と野生はみんないなり

小澤 實選

箱庭のバス停の名は「狐狸の里」

【評】箱庭に道がつくってあって、傍らにバス停の案内板が立つ。見ると「狐狸の里」と書いてある。持っている狐狸の里の狐狸や狐狸。不思議な世界に誘われる。

狐狸を挙げ山姥蛇喰へ来る

【評】狐狸が狐狸主に捕えた獲物を自慢げに見せに来る。この際、山姥蛇だった。「尾を挙げ」という。狐狸が狐狸に自慢げである。

一車両足のせてやかしき

【評】電車の一車両に足の児童を乗せている。その児童たちがはしゃいでいる。その児童たちがはしゃいでいる。その児童たちがはしゃいでいる。

汗匂ふ四人無言や昇降機

空母へと向かう坂道結着

昭和の白鷺も戦死者三百万

箱の皮に鎖段の書かれあり

陣中降る降口の舞子にも

陣中降る降口の舞子にも

陣中降る降口の舞子にも

陣中降る降口の舞子にも

陣中降る降口の舞子にも

陣中降る降口の舞子にも

陣中降る降口の舞子にも

津川絵理子選

道をしへ振り向きながら親の顔

【評】道端の習性をユニークな視点で捉えた。親が「こっちは」と振り向いて、待っていてくれた思いが重なる。「親の顔」が懐かし、子供時代へ導いてくれるよう。

大学の静けさにあり夏木立

【評】広いキャンパスなのだろう。学生は多いが全体的に静か。夏木立が美しい。「夏木立」によって大学の緑色が想像できる。

フランスの皿に載せたる海かな

【評】大きくて美味しそうな海。それを綺麗な皿に載せる。フランス製の美しい皿なのだろう。ちよつと取った感じがあつて面白い。

ふる里の麦に呼ばれてバスに乗る

行田市 吉田 春代

青竹も葉も器器料理

白井市 現金利愛子

若冲図鑑し雪舟図説

八王子市 徳水 松達

A1に教はりもして夢野

宝塚市 広田 祝世

動くたび関節が鳴る羽衣

東京都 川島 佳穂

脚指ててががんばの影まじらす

枝しおり折

龍太一句集「SKY・BLU E」

宇宙や悠久の歴史に思いをはせる。構えの大きい第3句集。夏を過ぎて地軸の寝れみえにけり。

（飯塚書店、3800円）

深山詩歌集「口ポット座落」星群 著者は情熱世代と呼ばれる30歳代。詩観をユーモアと接続し、世界を見つめる。ハロポット座落星群を見に行こうなんて無くていい。

（笠間書院、2000円）

【おわび】 6月8日俳壇に掲載された「子規の遺受けてもみたき虚子屋かな」は、1日に掲載済みでした。記者が何を取り違え、デスクの確認が不十分でした。入選作は以下の通りです。

買茂祭見ゆかむとて川よる

京都市 吉田 基子

買茂祭見ゆかむとて川よる

買茂祭見ゆかむとて川よる

買茂祭見ゆかむとて川よる

買茂祭見ゆかむとて川よる

買茂祭見ゆかむとて川よる

買茂祭見ゆかむとて川よる

買茂祭見ゆかむとて川よる

買茂祭見ゆかむとて川よる

買茂祭見ゆかむとて川よる

★川本千栄さんの短歌あれこれ第2回は22日に掲載します。

お片付け

後

バイセル 3つの安心宣言!

★ご家族のご同意を 随時にお取りしております。